しあわせ

Happiness

vol.514
2015年9月

第60回 千葉県勤労者美術展 入賞作品

連合 第17回 平和集会開催

樋橋（香取市佐原）

法律相談　労働相談　くらし相談　子育て　多重債務

●ひとりで悩んでいませんか？　**くらし何でも無料相談**

ちばライフサポートセンター
0120-53-4141

第60回

千葉県勤労者美術展

於　千葉県立美術館

9月1日～6日にわたり千葉県立美術館において千葉県と（一社）千葉県労働者福祉協議会主催の第60回千葉県勤労者美術展が開催されました。県立美術館の耐震工事により2年間中断し3年ぶりの開催となりました。中断前と比べ出品数は少なかったものの力作ぞろいで、千葉テレビのニュースでも放映して頂いたこと等により、開催期間中には多くの方が会場に訪れ鑑賞されました。また、最終日の6日には、表彰式ならびに審査員の先生による講評が行われました。多くの皆さまのご協力により再開できたことに感謝する美術展となりました。

千葉県雇用労働課小髙課長による
厚生労働大臣賞の表彰

千葉県労福協黒河会長による表彰

表彰式

講評（絵画）

講評（書）

講評（写真）

絵画の部

推 薦　（厚生労働大臣賞）

「廃線」田中 忠孝さん

ユニークな構成プラス色彩の美しさが素晴らしい傑作と思います

特 選　（県知事・労福協賞）

「居留地のなごり」

前野 順子さん

製作にあたる視点がとてもユニークで白の中に赤を３つ配列したのが斬新的です。

特 選　（千葉テレビ放送社長賞）

「今日も明日も」

宇佐見 一枝さん

墨絵の墨の美しさに加え、リアリティを持った佳作と思います。

準特選（県知事・労福協賞）	石橋マリベル	“POTTERY”
	廣田　敏雄	厳闘流韻
奨励賞（中央労金千葉県本部長賞）	井上　瑞穂	煌めいて―そして
	豊田　宗華	さあうたいましょう
奨励賞（全労済千葉県本部長賞）	鎌田　熊治	メモリー
	木村　博幸	昭和の名残り（土手通り）
奨励賞（千葉県生協連会長賞）	長谷川綾子	旅仕度
	堀口　延子	思い出ありがとう

●総評　千葉県美術会理事　竹久 秀樹

２年間の休館で出品者は前回より若干減りましたが、それぞれ力作を出品されて良い展覧会となりました。

書の部

推薦（厚生労働大臣賞）

「高青邱詩」 石橋 妍翠さん

字字線質強く、安定した字形で落ち着きある作。大小の変化も無理なく、所々にある連線も効果的である。

特選（県知事・労福協賞）

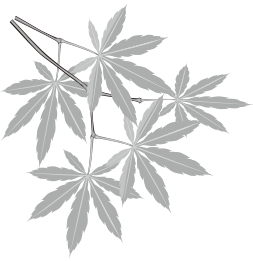
「五言律詩　3首」 秋葉 奈綯さん

小字４行が中心をきちんととり、最後まで乱れることなく貫通させた技術はすぐれたものである。部分的にあるにじみも作品を締める。

特選（千葉県立美術館館長賞）

「漢詩　二首」 鎌形 翠稀さん

単体の調和体、仮名と漢字が上手く調和して見事な作。文字の配置も無理がなく暢達した作となった。



準特選（県知事・労福協賞）	滝口　照影 ▌王鐸臨書

●総評　一般社団法人書星会理事　宮負 丁香

仮名、漢字、篆刻、調和体と部門別での出品があったが２年間の休館のため、出品が少ないのが残念であった。今年は大作に良作が多く見られた。来年は多くの人に出品していただきたい。

写真の部

推 薦　（厚生労働大臣賞）

「ミステリーブリッジ」

柳谷 直明さん

色彩のバランスがとてもよく、特にオレンジが良い。
バックグラウンドの青がより主題を強調している。

特 選　（県知事・労福協賞）

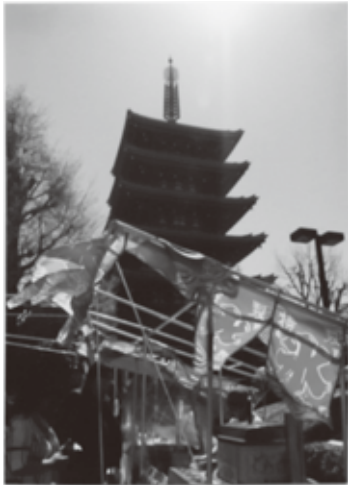
「元旦の朝」　横張 正之さん

お正月のおめでたい画面構成といい、とてもいい瞬間をとらえている。モノトーンの中から日の丸がぐっと浮き出てよりお正月らしさがでている。

特 選　（千葉日報社社長賞）

「風」　佐々木 浅雄さん

３枚構成のこいのぼりを主役にしている作品。いずれもたて位置の作品で動きがある。バルーンも風をうまくとらえていい作品です。



準特選（県知事・労福協賞）	田村一彦	笑顔
奨励賞（中央労金千葉県本部長賞）	横張 正之	ひよ鳥のホバリング

奨励賞（全労済千葉県本部長賞）	丸　孝雄	ゆったりと
奨励賞（千葉県生協連会長賞）	丸山 美由紀	只今休憩中

●総評　公益社団法人日本写真家協会会員　柏﨑 育造

今年は点数が少ないが、画面構成や色調のよい丁寧な作品が多い。内容も充実しており、良い作品が多くみられた。

第17回 連合千葉平和集会を開催！

どうなる日本？

連合千葉は、7月11日（土）13時30分より、千葉県教育会館大ホールにおいて、約300名の構成組織組合員、地域協議会、推薦議員団、高退連合、福祉団体のみなさんに参加いただき、第17回連合千葉平和集会を開催しました。

鈴木会長挨拶

はじめに、国民・県民運動推進委員会鈴木洋委員長より、「連合本部は、安全保障関連法案に反対する立場で対応することを確認している。この考えを積極的に支持し、本日の集会で、お互いに認識を深め合いたい。」との開会挨拶がありました。その後、主催者を代表して鈴木会長より、「働くことを軸とする安心社会を実現するためにも、本日の平和集会の意義・目的を全体化していただき、さらなる平和運動の継続強化をお願いしたい。」との訴えがされました。

朝日新聞社
特別編集委員　星　浩氏

集会では、朝日新聞社特別編集委員の星浩氏を講師にお招きし、「戦後70年と日本の進路」と題して講演を頂きました。内容は、「安全保障関連法案の審議が続くにしたがって反対の声が多くなり、今国会での成立を急ぐべきではないとの意見が増えている。海外で武力行使をしないことが戦後日本の安保政策の柱だが、今回の法案はこの方針を変えることであり、安保政策の大転換となる。集団的自衛権に踏み出すと、際限がなくなる恐れがある。集団的自衛権はアメリカと一緒に戦い、血を流すということ。相当慎重に議論をしないと日本の国の行く末を大きく誤ることになりかねない。議論は十分ではないし、理解が進んでいない。拙速な議論、拙速な採決は、将来に禍根を残すのではないかと思っている。」など、安全保障関連法案と国会審議についてはもちろんのこと、戦後70年談話、普天間問題、経済再生と社会保障改革など、政権の課題について、理解を深めることが出来ました。

「沖縄・広島・長崎」パネル展示

連合の平和運動

平和行動 in沖縄・in広島・in長崎に多くの仲間とともに参加する!!

連合は平和運動として、核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と、被爆者支援の強化をはじめ、在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しに向けた運動、北方領土の早期返還と日ロ平和条約の締結をめざす運動などに取り組んでいます。

そのため、6月～9月を平和行動月間として、沖縄（6月）、広島・長崎（8月）、根室（9月）での平和行動を基本に、中央・地方の取り組みを進めています。

今年は、戦後70年という節目の年を迎え、より一層平和運動を強力に進め、各種取り組みをとおし、広く戦後70周年の意識づけをはかり、組織全体で平和運動を推進しています。

連合千葉は、これまでも平和集会を開催するとともに、平和4行動に積極的に参加してきました。今年は、6月の「平和行動in沖縄」、8月の「平和行動in広島」、「平和行動in長崎」に参加し、9月には「平和行動in根室」に参加する予定です。

平和行動in沖縄（6／23～25）では、平和オキナワ集会、現地視察学習（ピースフィールド）、「米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の抜本改定」を求める集会・デモに参加しました。平和行動in広島（8／5～7）では、平和ヒロシマ集会、ピース・ウオーク（平和記念公園内の慰霊碑）、平和学習「語り部講和」、「連合 原爆死没者慰霊式」。平和行動in長崎（8／8～10）では、平和ナガサキ集会、ピース・ウオーク（原爆落下中心地公演、平和公園）、万灯流し。等々が開催され、それぞれに参加するとともに、戦後70年における平和の誓いを強く打ち立てた平和行動となりました。

in沖縄

in広島

in長崎

中央労働金庫 2015年秋季人事異動のご報告

2015年９月１日、2015年秋季人事異動が行われました。千葉地区の2015年度下期体制は下記の通りです。

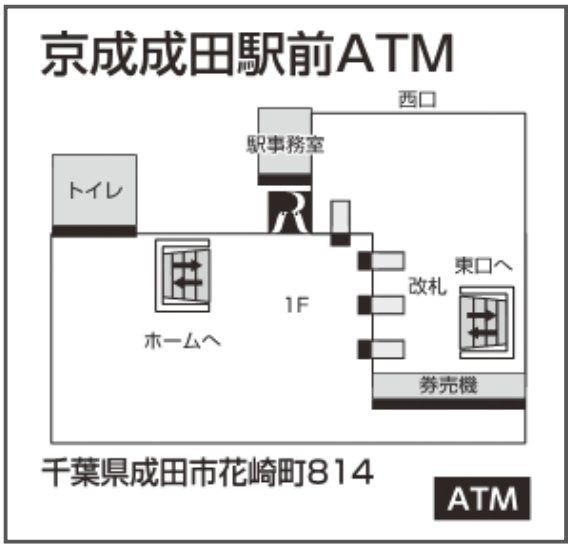
今後とも会員及び皆様方の一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

千葉県本部	本部長	日高英彦	副本部長	清藤　昇
	営業担当部長	川野佳道	次長	石﨑孝一
千葉支店	支店長	湯浅光雄	次長	熊倉正雄
			次長	梅田博文
千葉県庁前出張所	所長	奥田羊子		
野田支店	支店長	中山　修	次長	内藤淳子
			次長	松丸和成
市川支店	支店長	正岡義巳	次長	乙茂内一宏
銚子支店	支店長	大塚昭人	次長	釜形幸男
館山支店	支店長	田中信夫	次長	長谷川稔倫
茂原支店	支店長	古山毅彦	次長	関口正行
船橋支店	支店長	小松　修	次長	重本拓也
松戸支店	支店長	宮澤光雄	次長	染谷由美子
市原支店	支店長	雨宮博信	次長	瀧　浄人
木更津支店	支店長	熊田　繁	次長	山﨑晶史
成田支店	支店長	中山利之	次長	山内浩二
八千代支店	支店長	鳴海恵司	次長	太田明子
柏支店	支店長	佐藤眞一	次長	齋藤　学
成東支店	支店長	高木幸立	次長	小倉正宏
津田沼支店	支店長	岡園久美子	次長	中村圭介
津田沼ローンセンター	所長	渡辺好造		
流山おおたかの森ローンセンター	所長	川波稔幸		
お客様サービスセンター	所長	菅生利治		

京成線成田駅改札前にろうきんATM稼動開始!!

昨年の「成田駅前」ATMコーナー営業終了以降、お客様には何かとご不便をおかけいたしましたが、この度、６月10日㈬より「京成成田駅構内」へATMコーナーを新設することとなりましたのでお知らせいたします。

今後も当金庫のスローガンである「『あんしん創造バンク』～ 働く人のベスト金融アドバイザーとして ～」を目指し、より多くのお客さまにご満足いただけるサービスの提供を目指してまいります。



全労済千葉県本部第６回代表者会議開催報告

2015年７月30日（木）京葉銀行文化プラザ６階「欅」において、全労済千葉県本部第６回代表者会議が開催され、定数200名のうち、組合員代表者149名の本人出席のもと、すべての議事について確認されました。

全労済の団体生命共済が誕生してから50年となります

⑴　2015年10月1日に、全労済が団体生命共済事業を開始してから50年が経ちます。

1965年に「組合員相互のたすけあいをかたちにした保障」としてスタートした団体生命共済は、誕生してからこの間、組合員の皆さまの万一のときの一助となるべく、今日まで事業を行ってきました。最近では、組合員にとってさらに魅力のある共済をめざし、2014年８月に制度改定・掛金改定を行いました。

2015年６月末現在、全労済千葉県本部では労働組合の支えのもと、利用状況は101,009件･7,168,248口となっています。

全労済では、今後も団体生命共済が「組合員相互のたすけあいをかたちにした保障」として一人でも多くの組合員のお役に立てるよう、事業を運営してまいります。

⑵　団体生命共済50周年を迎えるにあたり、全労済では「団体生命共済50周年ロゴ」として新たに商品ロゴを作成しました。当ロゴについては各労働組合で積極的にご活用いただければ幸いです。

たすけあいを　かたちにして
50th ANNIVERSARY
団体生命共済
2015年10月に
50周年を迎えます。

～商品や夕食の宅配事業と併せて～

地域での高齢者の見守り活動をすすめています。

地域生協（コープ）では、高齢化がすすむ中で、行政や地域包括支援センター、他の宅配をする事業者と協力して地域での見守り活動をすすめています。生協の宅配は高齢者も多く利用していますが、自宅に引きこもりがちになる高齢者からは、「私は一人暮らしだから、生協さんみたいに毎週来てくれる人がいると、本当に安心するんだよ」という声が寄せられています。

生協の夕食宅配での高齢者の見守り（手渡しが基本です。）

■市町村と見守り協定

県内の地域生協は、2015年8月までに、県内54市町村全てと地域での見守り協定を締結しています。また、千葉県生協連は、2014年10月に、千葉県と高齢者の見守りや認知症対策に協力する協定を締結しました。この取り組みには、パルシステム千葉・コープみらい・生活クラブ生協・なのはな生協の4つの地域生協が参加しています。

■増える救護事例

見守り活動の広がりの中で、組合員や地域の方の異変に気づき、行政や警察、地域包括センターなどに連絡する件数も増えています。「インターフォンに反応がなかったので、庭に回り声をかけて異変に気づき消防と警察に連絡した」、「配達の途中に倒れている女性を見つけて救急車を呼んだ」、「配達時に組合員の姿が見えず配達終了後に再度訪問したが不在だったので、地域包括支援センターに連絡し、後日入院されていたとの連絡があった」などの事例が報告されています。

生協では、高齢者が安心して暮らせる地域づくりをめざして、こうした見守り活動のほかに、移動販売などの買い物支援、日常生活の助け合い活動、高齢者が集えるサロンなどの活動を一層広げていきたいと考えています。

第66回通常総会を開催

6月25日、千葉市内において千葉県生協連第66回通常総会が開催されすべての議案を賛成多数で可決しました。総会には、千葉県環境生活部生活安全課、千葉県農協中央会、千葉県労福協、日本生協連からそれぞれ来賓としてご出席をいただきました。今回の総会では役員改選がおこなわれ、会長理事に鳥羽治明（生活協同組合コープみらい千葉県本部長）が新しく就任しました。

千葉県生協連に加入している生協の組合員は、2015年3月末時点で、購買生協約112万、共済生協約38万の規模となっています。このうち地域購買生協の組合員は約103万で、県内世帯比による加入率は約39％となっています。購買生協の事業高は2014年度総計で約1，318億円となっています。

労働者福祉中央協議会（中央労福協）

2015年度 事業団体・地方労福協合同会議

2015年7月1日（水）14時から2日（木）12時にかけ、東京都荒川区東日暮里のホテルラングウッドにおいて、労働者福祉中央協議会（中央労福協）の「2015年度事業団体・地方労福協合同会議」が、事業団体、地方労福協等から約80名が参加し開催されました。

本合同会議は、座長の黒河副会長（東部ブロック会長）より「労働者自主福祉運動や連帯経済の役割を生かし、力を合わせるべき局面にある。事業団体と地方労福協が一堂に会する機会であり、秋へ向けた取り組みと利用促進に向けて意識合せを行いたい」との挨拶ではじまり、主催者挨拶で山本副会長は「戦後70年目の8月15日には日本の重大な進路の決断がなされるだろうが、私たち一人一人にも問われている。研究集会では自己責任論や世代対立を超え社会全体で若者支援に取り組もうと意思一致した。いまや3割超の世帯が預貯金ゼロと言われるが、置かれた社会的ポジションによっては、社会の深部で起きている変化に気づくには、相当の注意を要する。私たち自らが労組や協同組合の理念・原則を不断に点検していかないとならない。今回の会議では奨学金、サポート事業に加えキャンペーンの議論を深めたい。連合、労福協、各事業団体とも、各々のビジョンの時代認識や方向性は共通し重なり一致する部分が多い。国際協同組合年（IYC）を契機に取り組まれてきた取り組みや広い意味での社会運動としての労働運動の到達点を確認しつつ運動を進めていきたい。」と呼びかけられました。

報告事項では、中央労福協、事業団体として労金協会、全労済、日本生協連、住宅生協連合会、全国労信連、日本再共済連、全勤旅連合会、労協連、医療福祉生協連、ワークネット、全福センターより活動状況が報告され、労福協の北部、東部、中部、西部、南部の各ブロックより活動報告がされました。

協議事項では、①奨学金問題に関する取り組み（アンケートの実施）、②勤労者の暮らしにかかるサポート事業、③2015年度「生活底上げ・福祉強化キャンペーン」の取り組み（案）が協議されました。④労働者自主福祉事業の利用促進・連携促進では、労金協会・全労済・日本生協連・労協連より各団体の2020年へのビジョン・経営政策などの報告を受け、前回の生活底上げキャンペーン以降の実績を含む地方労福協からの活動報告を交えて、意見交換が行なわれました。

2015年度代表者会議・第203回幹事会

2015年7月9日（木）13時30分から千葉市・京成ホテルミラマーレにおいて、労働者福祉東部ブロック協議会「2015年度代表者会議・第203回幹事会」が1都10県の地方労福協等より33名が参加し開催されました。

本会議は、前段に第203回幹事会を開催し、各種活動の具体化等について協議され、引き続き、2015年度代表者会議が開催されました。

今年度の代表者会議のテーマは、東部ブロック協議会が来年結成50年を迎えるにあたり2つの検討委員会（組織・財政検討委員会、50周年記念事業検討委員会）を設置し検討を進めている「検討委員会の中間報告」をテーマ1とし、テーマ2の「50年の活動を踏まえた今後の労働者福祉運動と労働組合」の2本立てで行われました。テーマ1では、検討委員会の両主査より報告を受け確認が行われました。テーマ2では、黒河会長よりテーマ設定の趣旨が説明され、吉岡副会長より「過去と同様な課題やビジョン等が今日的にある。その時々に立派なビジョン等が作られたが、実践し実現までには至らなかった。実践することが大事。」との指摘を皮切りに活発な意見交換が行われました。

ワークルール検定への協力要請
高橋　均 氏

ライフサポート事業経験交流

2015年8月7日（金）14時から8日（土）12時にかけ、長野市・ホテル国際21長野において、労働者福祉東部ブロック協議会「ライフサポート事業経験交流」が、東部ブロック構成地方労福協が設置しているライフサポートセンター等の相談員が参加し開催されました。

初日は、「くらし・なんでも相談10年の経験から」と題し弁護士の佐藤豊氏より講演を頂き、その後、「ライフサポートセンターの特徴的事例や懸案事項の報告」を各地方労福協の相談員から報告を受け質疑応答や意見交換を通し共有化をはかってきました。翌日には、「生活困窮者自立支援法スタート」と題し、飯田市生活就労支援センターまいさぽ飯田所長の市瀬邦子氏より講演を頂き、その後、全体をとおしての意見交換が行われました。千葉からは、ちばライフサポートセンターの小竹相談員が参加し、相談員の交流を含め有意義な2日間となりました。

2015年度事業団体責任者会議

利用促進と共助拡大をめざして、事業団体責任者会議開催される!!

2015年8月20日（木）14時より栃木県・サンヒルズリゾートにおいて労働者福祉東部ブロック協議会「2015年度事業団体責任者会議」が開催されました。

事業団体責任者会議は、東部ブロック協議会に関係する、中央労金、全労済東日本事業本部、静岡県労働金庫、長野県労働金庫、新潟県労働金庫、新潟県総合生協の事業団体と各地方労福協、さらに中央労福協、連合関東ブロックにも参加頂き開催しています。

本年度のテーマは「利用促進と共助拡大をめざして～事業団体の認知度を高めるために」とし、黒河会長の開催趣旨を含めた挨拶に始まり、中央労福協佐野氏、連合関東ブロック大野会長より連帯挨拶を頂き、その後、各事業団体から「事業報告ならびに課題提起」が趣旨に添って行われ、活発な意見交換が行われました。

佐倉で 第36回 九都県市合同防災訓練が開催される!!

第36回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）が8月29日（土）、佐倉市城址公園等で開催されました。消防や警察、自衛隊、ボランティア団体など89機関約5千人が参加し実践的な訓練が行われました。

千葉県労福協は、九都県市防災訓練（千葉会場）に千葉県災害ボランティアセンターの一員として千葉県生協連、連合千葉災害ボランティアチームとともに参加しました。

訓練は、救出救助訓練、上空からの情報収集訓練、自衛隊によるリペリング降下訓練、オートバイ・特殊車両による情報収集訓練、警察・消防・自衛隊による救出救助訓練、警察・消防によるホイスト救助訓練、ライフライン応急復旧訓練、応急救護所訓練他多岐にわたり行われました。

千葉県生協連、連合千葉、千葉県労福協では、救急物資搬送等訓練や災害ボランティアセンター訓練に参加し、特に救急物資搬送等訓練では、救援物資の受入と仕分け、そして各避難所に向けての搬送車輌への積み込みや搬送を行い、災害時の連携や手順を確認しました。搬送は千葉県との災害時協力協定、日本赤十字社との災害時緊急物資の搬送協力協定を締結している千葉県生協連の各生協の皆さんが担当しました。

第26回 千葉県協同組合フェスティバルのご案内

千葉県協同組合提携推進協議会が主催します「第26回千葉県協同組合フェスティバル」が10月25日（日）千葉ポートパーク円形広場で開催されます。

このフェスティバルは千葉県内の協同組合の交流をはかるとともに、県民に「協同組合」をアピールすることを目的に1988年スタートしました。千葉県労福協と中央労金千葉県本部は、千葉県生協連の呼びかけにより2012年の国際協同組合年からフェスティバルに参加させて頂き、全労済千葉県本部と協力して出店し事業・運動のPR等を行っています。「海と大地とくらしの祭典」として千葉県生協連をはじめ多くの協同組合の皆さんが出店し、また楽しいイベントも盛り沢山ありますので、多くの皆さまのご参加をお願いいたします。

日時 2015年10月25日（日）10時～15時

場所 千葉ポートパーク円形広場

中央ろうきんの普通預金口座は2つのキャッシュバックでお得!!

即時全額ATM手数料をキャッシュバック！

普通預金口座のお引出し、カードローン（マイプラン）のお引出しを対象に、1口座あたり何回でも、ATM・CDご利用時のお引出手数料が即時にご利用口座へキャッシュバックされます。

例えば　引出手数料 108円の場合 × 1ヵ月の引出回数 5回 × 1年間 12ヵ月 = 年間キャッシュバックされる金額 6,480円

インターネット／モバイルバンキングでの振込手数料を月3回までキャッシュバック！

<中央ろうきん>に給与振込、年金受取をご指定の方を対象に、「インターネット／モバイルバンキング」（普通預金）からの振込によるお振込手数料が、お1人様あたり1ヵ月につき日付、時刻の早い順に3回までキャッシュバックされます。

例えば　振込手数料 432円の場合 × 1ヵ月の振込回数 3回 × 1年間 12ヵ月 = 年間キャッシュバックされる金額 15,552円

※キャッシュバックされたお振込手数料は、翌月20日（休業日の場合は前営業日）に、振込手数料をお引きしたお客様の<中央ろうきん>普通預金口座へご入金します。　※当金庫のシステムにて判定可能なご契約に限ります。　※キャッシュバックサービスは、個人のお客様が対象となります。

便利　全国のコンビニのATM・CDでご利用いただけるキャッシュカード！

つかえるATMはこんなにも　銀行・信金・信組　ゆうちょ銀行　セブン銀行　イオン銀行

たとえばこんなコンビニでも　LAWSON　ファミリーマート　ミニストップ　サークルK

※一部取り扱いできないコンビニエンスストアもございます。※設置場所や時間帯によりご利用になれない場合があります。ATMの設定場所および利用時間等につきましては、各銀行および運用会社のホームページ等をご覧ください。

お問い合わせ・ご相談は
TEL. 043-251-5162
中央労働金庫　千葉県本部

商品・サービスに関する詳細はこちら！
中央ろうきん　検索
▶http://chuo.rokin.com

あんしん創造バンク
中央ろうきん

2015年8月1日現在

第32回 千葉県勤労者 チャリティゴルフ大会

ゴルフを通して勤労者の親睦・友好・健康増進を深めあうとともに、参加者からのチャリティ募金は、東日本大震災の震災復興や格差貧困問題等、社会的活動に取り組む団体などに寄附して、活動の一助とすることを目的にチャリティゴルフ大会を開催いたします。奮ってご参加ください。

日　時　2015年10月26日(月)　7時18分スタート（7分間隔）

参加資格　勤労者（千葉県在住及び在勤）とＯＢとその家族

募集人数　50組（200名：先着順で定員になり次第、締め切ります。）

場　所　真名カントリークラブ　〒297-0077 茂原市真名1744　TEL 0475－24－5211

参加費　合計12,500円です。※セルフプレーとなります。
〔プレー費・昼食代（ワンドリンク付）・パーティー代・参加費・チャリティ募金1,000円含む〕

競技方法　18ホール　ストロークプレー(新ペリア方式)
組対抗戦は各チーム上位３名のネットトータルで順位を決定します。
同点の場合年齢トータルでシニアベスト。さらに同点の場合４人目の年齢合計。
- 個人･団体順位飛賞（上位めざして一致団結！）
- ニアピン賞
- ドラコン賞
- ホールインワン賞　賞品・旅行券10万円（第28回大会で達成者が出ました。）

※賞品提供は、中央労金千葉県本部・全労済千葉県本部

パター大会　ラウンド終了後、練習グリーンにお集まりください。
カップイン者にはプレゼント！（多数の場合はジャンケンで３名の方に。）

申込方法　10月2日（金）までに、電話･FAXにて真名カントリークラブと労福協両方ににお申込み下さい。
真名ＣＣ　TEL 0475－24－5215　FAX 0475－24－5216
労 福 協　TEL 043－241－6681　FAX 043－241－6683

主　催　(一社) 千葉県労働者福祉協議会

後　援　●千葉県　●連合千葉　●中央労金千葉県本部　●全労済千葉県本部　●千葉県生協連

SUPPORT FOODBANK CHIBA - 11th FOOD DRIVE

第11回フードドライブ

ご家庭に眠っている食品大募集！

日本では年間約1,700万トンの食品が廃棄され、その中にはまだ食べられるのに捨てられてしまう食品が500～800万トンもあると言われています。ご家庭で不要な食品があればぜひご寄贈ください。いただいた食品は「フードバンクちば」が責任を持って福祉関連施設へ、支援団体などを通じて生活に困窮している方にお配りします。皆さまのご協力をお願いいたします。

フードドライブ＜食品の回収＞にご協力ください！

平成27年 9/14(月)～10/30(金)　平日 9：00～17：00

受け取り窓口

フードバングちば他県内各所

(一社) 千葉県労働者福祉協議会
千葉市中央区中央港 1-24-14　SEASCAPE 千葉みなと ３Ｆ
TEL. 043 (241) 6681

野田地区労働者福祉協議会
野田市上花輪８６９番地　キッコーマン労働組合会館内
TEL. 04 (7122) 3589

フードバンクとは

包装の破損や印字ミス、賞味期限に近づいた等といった理由から、品質には問題がないにもかかわらず廃棄されてしまう食品・食材を、企業や個人等から引き取り、必要としている福祉施設・団体等や生活困窮者へ無償で提供する活動です。食品ロスを削減し、企業や個人の社会貢献を推進することで、食品確保が困難な方々の役に立つという新しい食のリサイクルの形でもあります。

寄付いただきたい食品

- □ 穀類（お米、麺類、小麦等）
- □ 保存食品（缶詰、瓶詰等）
- □ 乾物（のり・豆など）
- □ 調味料各種、食用油
- □ インスタント食品・レトルト食品
- □ 飲料（ジュース・コーヒー・お茶等）
- □ ギフトパック（お歳暮・お中元等）

フードバンク ちば　〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11コーポ立花101
☎ 043-375-6804 平日 9:00～17:00

2015年9月発行　発行／(一社)千葉県労働者福祉協議会　http://www.rfk-chiba.net
千葉市中央区中央港1-24-14　SEASCAPE千葉みなと３階　TEL.043-241-6681　編集・印刷／㈱メロウリンク企画